伊藤君全国大会出場

青年の主張で

NHKの主催による青年の主張全国コンクール関東甲信越大会が十二月六日東京のNHK放送センターで開かれました。この大会で千葉県を代表し、横芝町の伊藤一男君（屋形荒場）が参加し、最優秀賞という好成績で入賞しました。また、一月十五日に東京内幸町のNHK会館で行なわれる全国大会に参加が決定しております。

なお、当日はテレビ放送もありますので、町民の皆様も御声援くださるようお願い致します。関東甲信越大会で発表された内容は次のとおりです。

私の青春

伊藤一男

この十年、僕の青春は郷土の歴史調査で明暮れました。中学二年の時、社会クラブの仲間と芝山の埴輪博物館までサイクリングに出かけたことがあります。その帰り道、みんなで坂田城の城山に登り昼ごはんをとったりしているうちに、雑草の中によく見ると、堀の跡や土塁があることに気付いたのです。歴史に興味を持ち始めていた僕には大きな驚きでした。「あの整然とした埴輪館にくらべ、なんという荒れようだ。これではいけない」と思ったのです。その時から僕と城山とのつきあいが始まりました。最初は城跡近くの家々で伝説を聞いたり、城山を詳しく案内してもらいました。そこで気のついたことは、みんな城山を誇りにしていることでした。時には古文書を見せられることもありました。でも全然読めません。この悔しさが高校生となった時、本格的に歴史を学習するバネとなったのです。古文書の読み方や日本史の学習をすると同時に、城山の実測や文書捜しに熱中しました。三年間の日曜はほとんどつぶして郷土史と取り組んだのです。高校を卒業し再び城山へ登った時、僕ははっと息をのみました。中学生のとき見た城山の姿は一変し、その頂上には梅林が造成され、幅広い農道がはしり、ブルドーザーで古墳はのされ、土塁も一部崩されていました。中学生のとき「これではいけない」と思ったことが現実となって迫ってきたのです。そして再び訪問した家々では、母屋の建替えなどで古文書を燃したりしていました。そこで僕は五年間の成果を町の広報に連載してみたのです。変化は確実にありました。町内には「郷土の歴史を知ろう」という雰囲気が高まり、史談会が結成され、その翌年には町史の編さんが企画されました。多くの問題を解決しながら、今年で三年目になります。工業化、都市化の中で歴史的な遺産がその姿を消している現在、みんなに正しい郷土の歴史を知ってほしい。このことが僕を役場の町史編さん室に臨時就職させる動機となりました。毎日ほこりだらけで、史料の整理に取り組んでいます。じみだけれど張りあいのある毎日です。僕の仕事は農業です。随分と悩みました。身を切られる毎日の中から僕は、歴史調査の仕事を選びとったのです。でも冬がさり、春になれば再び僕は野良に帰ってゆきます。空港建設がすすみ、僕の町も工業地帯として開発されようとしています。こうした地域の現状の中では、歴史公園の具体化など地域ぐるみの保存でなければ遺跡が守ってゆけない現状です。将来は農業生産に励げみながら、ぜひそうした仕事にも力を尽くしたいと思います。今はそのための基礎づくりです。僕は郷土の歴史の発掘と、その保護に青春の情熱をぶつけます。

建設のあゆみ

12月～1月

完成した事業

①	関場青年館新築工事	79.2㎡
②	町営分譲地宅地造成工事	37区画
③	消防団本部器庫新築工事	53.74㎡

一月着工及び工事中の事業

①	鳥喰沼地先道路舗装工事	482m
②	本町地先排水路流末工事	122.6m
③	宮前三本松線道路及水路改修工事	474.5m
④	町営住宅新築工事	10戸
⑤	県営住宅新築工事	30戸
⑥	消防署分署新築工事	411.9㎡
⑦	上町青年館新築工事	82.6㎡
⑧	横小増築工事	923.2㎡

利子所得の課税方法がかわりました

私たちは、子供の入学、結婚、また家を建てるときなどまとまったお金が必要なときに備えて預金をしたり、公債や社債を買ったりしています。預金や公債、社債の利子などは、これまで一五パーセントの所得税が源泉徴収されるだけで、他の所得と分離して課税されていましたが、今年から課税の方法がかわり、概要は次のとおりです。

(1)定期預金、社内預金、公社債などの利子所得については、これまでのように源泉徴収だけの分離課税と、他の所得と合わせて確定申告をする総合課税と、どちらでも有利な方を選択することができます。

(イ)分離課税をした場合は、利子に対する税率は四十六から四十七年で二十パーセント、四十八から五十年で二十五パーセントです。

(ロ)総合課税をした場合は、利子が支払われるときにいったん十五パーセントの税率で源泉徴収されますが、利子所得とほかの所得を合計して確定申告をし、税金を精算してください。

(2)普通預金の利子などは、原則として総合課税になりますが、確定申告はしなくともよいことになっています。したがって今までの十五パーセントの源泉分離課税と同じことになります。

なお、小額預金の利子所得の非課税は従来どおりです。

横芝俳壇

横芝句会十一月作品抄

冬の夜のデンと据いたる壺の影　土屋　栗水

母の味輪切大根のほろ苦く　石川　奇水

みちのくの温泉街は柳の里なりき　藤代　ゆう

みちのくの冬の夜話し悲なりけり　草園

大根の一葉落して老婆過ぐ

対い居て語るともなし冬の夜

からころと響く足音夜半の冬　田島　千女

軒零音の遅速や夜半の冬　高埜　孝子

コーヒーの温気からみ合う冬の夜　渡辺きよこ

干し大根に陽当り淡し軒ひさし

新春雑詠

初暦古都名園を扉とず　土屋　栗水

門松は枝芯にして農守る　石川　奇水

じんの前唄迫られ初笑ひ　藤代　ゆう

酒飼に侍し娘が華やかに初笑ひ

公害の無き世なれかし屠蘇を酌む　藤代　ゆう

娘の背丈われにまされり初鏡